

世田谷区スポーツ施設整備方針(素案)からの修正内容

No	ページ	素案	案
1	9	大蔵運動場と大蔵第二運動場は一体化を基本とした整備を検討し、 <u>効率的な施設配置と、多</u> <u>種目、多世代、多機能な施設とする。</u>	大蔵運動場と大蔵第二運動場は一体化を基本とした整備を検討し、 <u>都立砧公園等の近隣施設も考慮したうえで、効率的な施設配置を図るとともに、多種目に対応した、多世代が利用できる、多機能な施設とする。</u>
2	9, 21	2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした...【省略】	国際スポーツ交流の軸を中心に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした...【省略】
3	9	大蔵運動場と大蔵第二運動場の管理運営面での一体化に向けた検討・整備	(削除)
4	14	スポーツ施設の整備(特に、学校跡地や公共施設、民間施設の空き地等の未利用地の確保が可能な場合)は、 <u>まちづくり等と連携して地域特性を踏まえた区立スポーツ施設及び施設周辺の整備を進める。</u>	スポーツ施設の整備にあたり、特に、学校跡地や公共施設、民間施設の空き地等の未利用地の確保が可能な場合は、 <u>地域特性等を踏まえて取り組むとともに、施設周辺の整備も合わせて進めていく。</u>
5	19	誰もが安全、安心して利用できるよう、 <u>適正な維持保全、予防保全に努めるとともに、環境に配慮した施設整備や、災害時に適切に対応できるスポーツ施設の機能充実を目指す。</u>	誰もが安全、安心して利用できるよう、 <u>適正な維持保全、予防保全に努めるとともに、環境に配慮した施設整備やユニバーサルデザインの推進、災害時に適切に対応できるスポーツ施設の機能充実を目指す。</u>